

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第43号 平成22年12月12日

先発志村、今期初戦と最終戦を制す！

苦しんでいた哲也が大爆発！

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	3	1	4	0	1	3		12
F	0	0	2	1	2	0		5



12/11(土)相模原球場に向き、前節と同じフィトンチッツとオープン戦を行った。前節は2010KSC決勝戦で、我がチームは勝利をゲットしたが、最終回の相手攻撃が成立していたなら、同点・延長戦だった。しかし、ここは草野球の宿命、グラウンド使用枠の時間制限により、勝利となったが、両チームとも、もやもや感があったので、ここは再度！という事で対戦になった。先攻は我がチーム、先頭は倒れたが、2番哲也のバットが9試合振りに火を噴いた。後で確認したところ、「あのヒットが利きましたね」との事で、3塁打を記録すれば、あわやサイクルという大活躍ぶりであった。先制は、その哲也が3番の時に、2盗・3盗を決め、後続も四球を選び、1死2・3塁の場面で、4番が放った打球をセカンドがハンプル・悪送球、この間に2点。更には梶原のポテンヒットの間に2塁から一塁生還し、初回到3点を先制した。3回には、2本の長打と3本の単打で4点を、更には、最終回、相手のミスと四球更には、哲也のRHで4点を挙げ圧勝した。守っても、今期初戦以来のマウンドに上がった志村が4回を無難に押さえ、初戦と最終戦を白星で制した。更に、後続を任された政司も2回を1安打に抑えるピッチングを披露し、こちらもちりと抑え、勝利に貢献した。

今期はメンバーの融合により、勝利を求める力が高まった。負けた時には、何故負けたか？勝った時は、その余韻に浸りながらも、反省を行ったりと、少しずつ野球をやるチームに変身をしているように感じた。また、メンバー同志の知った激励も、+の力になっているように感じた。激を飛ばす中、若干行き過ぎ間の有るゲームもあったので、この辺は、来期は注意したい。今日で、今期の活動は終了したが、また来期万全の体調でシーズンインできるように各人体調管理に気をつけて頂きたい。

来年1/15(土)新年会は多数の参加者で・・・

1年間お疲れ様でした！

それにしても、4回の守備は、捕手@梶さん、災難でしたね・・・